

八峰コミスク通信

いよいよ雪の便りが聞かれる季節になってきました。町の文化祭を始め、町民の皆さんに元気を届けてくれる小中学生の活動が見られました。

地域と学校の連携・協働 地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介します

五年生 漁港の見学（十一月六日）

八森小、峰浜小、両校の五年生が、一緒に北部漁協を訪れました。五年生は、九月三十日に稲刈りを一緒に体験しており、今回は、社会科の校外学習を合同で行いました。



荷捌き場で、水揚げされた魚を見せてもらって、港にある製氷施設について説明してもらい、冷凍庫の寒さを体験したり、養殖しているフグの水槽の見学をしたりしました。セリの模擬体験もして、漁業に携わる仕事の理解を深めました。

町文化祭での販売活動（十一月十日）

八峰中学校、峰浜小学校、芸術発表のステージで、八峰中学校全校生徒による合唱「あとひとつ」が発表されました。観客の皆さんの前で、美しいハーモニカを響かせ、会場からは、大きな



令和6年度
第13号
R6/11/19
CSディレクター
三浦

拍手が送られました。また、ランチルームを会場に、峰浜小四年生の「ラベ」の「香り袋」、五年生の「峰の子米」、六年生の「しいたけ」、八峰中二年生の「町名産品」、三年生の「オリジナル商品」の販売活動が行われました。開始前から廊下には長い列ができ、販売開始と同時に身動きができないほどの大入りで、二十分ほどで完売する商品もありました。学習の成果を発表する場であると同時に、ふるさとに元気を届ける日になりました。



AIU学生と交流（十月三十日、十一月一日）

一、二年生は、給食の時間と昼休みの読み聞かせを通して、留学生と交流しました。



三十日（水）は、三年生と四年生が、自己紹介でネームカードを交換したり、フルーツバスケットをしました。一日（金）は、五年生と六年生が、外国語の授業で、得意なことやお勧めの外国産品をタブレットを使って英語で紹介したり、留学生の出身国の紹介などを聞いたりして、交流を楽しみました。

ふるさと学習day（十一月十日）

一年生から三年生の児童と保護者の皆さんが参加しました。生活科や総合的な学習の時間の発表の後、保護者の皆さんと一緒に調理を楽しみました。一、二年生は、学校の畑で収穫したサツマイモを使っ



て、「蒸しパン」と「大学いも」の調理を行い、親子でおいしくいただきました。JAの皆さんが講師として参加してくださいました。三年生は、給食センターの佐藤先生を講師に、峰浜梨のコンポートとジャムを使ったクレープを作り、保護者の皆さんと一緒にいただきました。

四年生 人権教室（十一月十四日）

能代山本地区の人権擁護委員の皆さん八名が来校してくださいました。「いじめは命を危うくする、人権に反する行いである。」「勇気を出して相談する。」「思いやりが大切である。」「などを学びました。」



三年生 命の大切さを伝える授業（十一月十四日）

「助産院こころ」の小林かおり院長を講師に招き行われました。生命の誕生が奇跡的であることを、映像や人形などを使って、分かりやすく教えてくださりました。「性と生」「同意の大切さ」などについても学習しました。



八森小学校

二年生 チューリップ球根植え（十一月十八日）
風が強く、肌寒い天候でしたが、二年生は協力して、元気に植え付け作業をしました。

八峰中学校
「助産院こころ」の小林かおり院長を講師に招き行われました。生命の誕生が奇跡的であることを、映像や人形などを使って、分かりやすく教えてくださりました。「性と生」「同意の大切さ」などについても学習しました。

